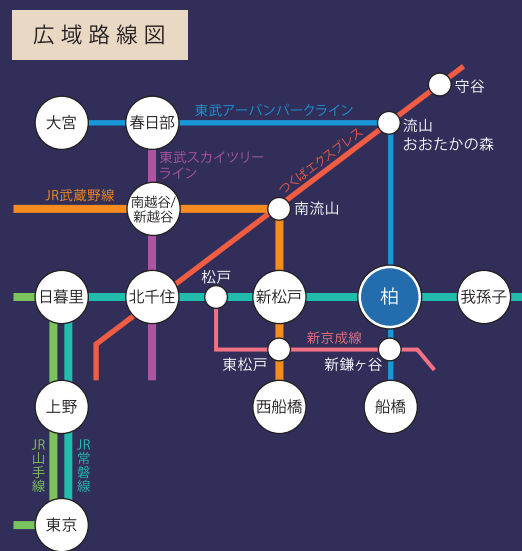


交通アクセス



KASHIWA KOUSSEI GENERAL HOSPITAL

RECRUIT GUIDE

看護職員募集案内

柏厚生総合病院

救急・高度急性期医療を担う病院に
相応しい人材育成を目指して

電車をご利用の方

- JR常磐線「柏駅」下車 西口から徒歩約18分
- 東武アーバンパークライン「柏駅」下車 西口から徒歩約18分

東武バスをご利用の方

- 東武バス「柏駅西口3番乗り場・系統(柏02)」
- ・14:00まで「市内循環(三間先回り)」約15分
- ・14:00から「市内循環(松ヶ崎先回り)」約5分
- 停留所「高田下」下車徒歩5分

巡回バスをご利用の方

- 「柏駅西口」、「豊四季団地」、「豊四季駅北口」、
- 「柏の葉キャンパス駅(TX)」からの巡回バスが
- ございます。
- 詳細はホームページをご覧ください。

お車をご利用の方

- 常磐道「柏インター」から約15分

タクシーをご利用の方

- 各線「柏駅」西口から約5分



柏厚生総合病院

〒277-8551 千葉県柏市篠籠田617番地

TEL. 04-7145-1111(代)

FAX. 04-7145-1221

🔍 柏厚生総合病院 🔍



救急・高度急性期医療を担う病院に相応しい人材育成を目指して

看護部では、2025年の新館開設を見据えて、大幅増員を図る方針です。新卒者はもちろん、救急救命や集中治療領域に関心を持つ中途入職者も歓迎し、手術室、血管内治療室、内視鏡センターなど、幅広い活躍のフィールドで、スキルの習得や各分野のスペシャリストへの道をバックアップしていきます。

■ 病院紹介



柏厚生総合病院は1979年の開設より、地域の中核病院として患者様中心の医療の実践を心がけています。質の高い安全な医療を提供することを目標に「患者様から選ばれる病院」「職員が誇りをもって働ける病院」の実現を目指し、常に自己研鑽を重ね、患者様中心の医療サービスの提供に努めています。2025年には救急センターを併設した新棟をオープンし、ICU、CCU、SCUを備えた420床の病院へと進化する予定です。

病院概要

住 所	〒277-8551 千葉県柏市篠籠田617番地	診 療 科	内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、血液内科、腫瘍内科、糖尿病内科、腎臓内科、肝臓内科、内視鏡内科、人工透析内科、脳神経内科、外科、呼吸器外科、心臓外科、血管外科、消化器外科、乳腺外科、小児外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、内視鏡外科、移植外科、アレルギー科、リウマチ科、小児科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、歯科、歯科口腔外科、病理診断科、麻酔科
T E L	04-7145-1111(代)		
開 設	1979年12月1日		
建物構造	鉄筋コンクリート6階・別館2階		
病 床 数	322床		
職 員 数	1046名(2023年4月1日現在)		
基準関係	看護 一般7:1 脳血管疾患等リハ(I)、運動器リハ(I)、呼吸器リハ(I)		



上尾中央医科グループについて

当院は、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、茨城、群馬に多くの医療ネットワークをもつ上尾中央医科グループ(AMG)に所属しています。年間を通してグループ主催の研修が充実しており、「奨学金制度」や「認定看護師受験支援講座」など、キャリア支援が整っています。

[看護部理念]

人にやさしく

信頼される看護の実践

- 1.看護の専門性を発揮し、信頼される質の高い看護を提供します。
- 2.医療における専門職として多くの知識を持ち、患者さまの立場に立って一番良いことは何かを追求します。
- 3.医療チームの一員として多職種と連携し、看護専門職としてチーム医療を実践します。
- 4.高潔な価値観を持ち、自ら考え正しく判断して医療チームと共に率先して行動する看護師を育成します。
- 5.看護を通じて地域医療の質を高めます。



幅広い活躍のフィールドで成長をサポート

憧れの先輩の背中を追いかけて成長して欲しい

看護部長 石井 久美子

看護部の強みは、ロールモデルとなる先輩看護師が後輩の夢を応援し、自発的な学びを促していることです。独自の取り組みとして、特定看護師・認定看護師・感染制御実践看護師・日本糖尿病療養指導士などの有資格者たちで結成した「看護の質向上委員会」では、専門講義や資格取得のガイダンスを開き、仲間が安心してキャリア開発に臨めるよう背中を押しています。また、院長をはじめ、当院の医師たちは看護師教育に熱心

で、地域における看護教育の拠点を目指し、特定行為研修指定研修機関となりました(2022年度開講)。看護部長として心がけているのは、スタッフの知的好奇心を伸ばすマネジメントを行うこと。地域医療をリードする当院では、高い看護スキルが求められますから、一人ひとりが高い知識を持ち、いち早くアセスメントする力を身に付け、チーム一丸となって活躍できる環境を創造したいと考えています。



教育環境とサポート体制



地域社会を支える 看護教育の実践

看護係長 新井 ともみ

教育委員会では、AMG(上尾中央医科グループ)共通のラダーと独自のカリキュラムを併用し、急性期看護の特徴を踏まえた教育体制を確立しています。当院の診療方針に合わせて、救急・集中治療領域のプロの育成に力を注いでいるほか、併設の訪問看護ステーションの訪問看護師の協力を得て退院支援を学ぶ機会を用意しています。

新卒者には、座学・病棟実習・eラーニングを組み合わせた約1ヵ月間の研修プログラムを開催し、部署配属後は現場の特色に合ったOJT(プリセプター制度・チューター制度・PNSなど)を実施。中途入職者には、キャリアに合わせて相談窓口となる先輩を付け、業務に慣れるまでフォローする体制を整えています。



目標とする存在を 間近で感じられる環境



将来は認定看護師を目指しているため、資格取得支援が手厚く、多様な分野のスペシャリストナースが活躍する当院に新卒で入職しました。配属先は、救急搬送患者様が入院する「救急病棟」で、軽度の骨折から心筋梗塞などの一刻を争う症例まで、幅広い疾患と向き合っています。覚えることが多くて大変な面もありますが、あらゆる診療科に精通した先輩方と働ける日々は刺激的で楽しく、救急看護をもっと深めたいと考えようになりました。昼休みには、職員食堂で同期とランチを楽しんだり、チョコレートやドリンクが無料のライブラリースペースでくつろいだりと、ONとOFFの切り替えも大切にしています。



クリニカルラダー



子育て中も キャリアを継続

(看護主任 入職13年目)



入職時は独身でしたが、子育てサポートが手厚い職場のおかげで、結婚・出産後もキャリアを継続することができています。定員70名と大規模な保育室は当院の目の前にあり、保育料金がリーズナブルで、年齢別保育が行える広さと部屋数です。24時間対応なので夜勤にも入れますし、お迎えが遅くなる際は、電話1本で夕食まで出してもらえるので助かります。保育行事も充実していて、年度末には1年間の子どもの様子を撮影した「ビデオ鑑賞会」があり、ハイハイやよちよち歩きの記録が残っていて、すごく嬉しかったです。これからも、保育室を上手く活用しながら大好きな仕事を続けていきたいと思っています。

教育年間スケジュール (レベルⅠ／Ⅱ)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
レベルⅠ	●新人研修(集合研修) ●ローテーション研修	研修病棟 仮配属	研修病棟 仮配属	研修病棟 仮配属	研修病棟 仮配属	研修病棟 仮配属	研修病棟 仮配属	研修病棟 仮配属	研修病棟 仮配属	研修病棟 仮配属	研修病棟 仮配属	●修了式
レベルⅡ	●看護記録	●急変デモン ストレーション	●リフレッシュ研修	●フィジカルアセスメント②	●フィジカルアセスメント①	●ケーススタディの発表 (初年度)	●ケーススタディの発表 (初年度)	●ケーススタディの発表 (初年度)	●ケーススタディの発表 (初年度)	●ケーススタディの発表 (初年度)	●ケーススタディの発表 (初年度)	●ケーススタディの発表 (初年度)
	●2年目研修 ●千葉県看護協会											
	ラダー研修(毎月1回)											

福利厚生



ライブラリースペース
医学書や文献、生活雑誌も取り揃えています。無料のコーヒーも自由に利用できます。



保育室(全職種利用可)
乳幼児70人規模の保育室。年齢別保育も充実しています。



職員寮
柏駅から徒歩8分、病院から徒歩10分と、生活に便利な環境です。(生活支援手当あり)

部門紹介

幅広いフィールドで成長し、活躍できる環境があります

■ 外来化学療法室

外来化学療法室は、通院で抗がん剤治療や生物学的製剤の治療を受ける患者様が、安全・安楽・安心の治療を受けられる空間です。以前は入院治療が一般的でしたが、新しい治療薬の開発、支持療法（制吐剤など）の進歩・普及、抗がん剤経口薬の増加などから、外来での治療が主流となりました。その方に見合った副作用対策をとり、ライフスタイルを変えずに仕事や日常生活を続けながら治療ができるメリットがあります。

患者様、ご家族様のご意向や習慣、日々の生活を大切にしながら、医師、薬剤師、看護師をはじめとする多職種間で連携を取り、療養生活を全力でサポートしています。



外来化学療法室のスタッフたち。和やかな雰囲気です。

■ 糖尿病療養指導外来

「今日の結果はどうだろうか？ また怒られるかもしれない」と、不安を抱きながら受診をされる患者様も多いです。「療養指導外来」は、日本糖尿病療養指導士がチームで担当しています。患者様の思いに寄り添い、たとえ期待する結果でなかったとしても、患者様自身を否定するのではなく、療養行動の方法が妥当であったかを共に振り返り、支援しています。受診後には「来てよかった」と思っただけの場所にできれば良いと考えています。

糖尿病看護に興味のある方、患者様に「来てよかった」と思っただけの看護外来を私たちと一緒にしてみませんか？



患者様やご家族のライフスタイルに合わせ、目標を達成するための方法を一緒に考えています。

■ 特定看護師

現在柏厚生総合病院では、13名の特定行為を行う看護師（特定看護師）がそれぞれの分野、部署で活躍しています。特定行為とは診療の補助であり、看護師が手順書により行う場合には、実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識及び技能が特に必要とされる21区分、38行為のことを指します。当院では、それぞれ呼吸器関連、栄養に係るカテーテル管理関連、血糖コントロールに係る薬剤投与関連、創傷管理関連などの研修を修了した看護師がそれぞれの部署で活躍しています。患者様のそばに寄り添いつつ、苦痛が少なくタイムリーなケアを行うために、もしご興味があれば一緒に頑張りましょう。



特定看護師による動脈ライン挿入。タイムリーに患者様へ必要な医療と看護を提供しています。

■ 感染制御実践看護師

現在、感染制御実践看護学講座にて、感染制御実践看護師の認定を受けた看護師2名が、病院において講座受講中です。病院において、感染から医療を受ける側・提供する側の双方の安全を守れるよう、感染予防に取り組んでいます。医療関連感染サーベイランスを実践し自施設の評価やアウトブレイクの早期発見、医療スタッフへの感染予防教育を実施しています。また、感染制御チームの医師・薬剤師・臨床検査技師など、多職種と連携し活動しています。



感染制御チーム（ICT）で環境ラウンドを行い、各部署の感染対策を確認しています。

部門紹介

幅広いフィールドで成長し、活躍できる環境があります

■ 救急外来／血管造影室

当院は二次救急指定病院であり、24時間365日体制で救急外来を受診するさまざまな救急患者様の包括的診療を行っています。また、血管造影室では心臓カテーテル・脳血管造影・腹部血管造影・気管支動脈造影など検査・治療が必要な患者様に対して円滑かつ安全に不安なく検査・治療が受けられるよう配慮しています。軽症者から重症者まであらゆる患者様に対し、多職種のスタッフと常時連携をして、初療が円滑に進むようにトリアージや診療の介助、さまざまな調整を行っています。どんな時もどんな患者様もすぐに対応する救急を目指して、消防署との連携を強化し、地域に密着した医療と質の高いチーム医療の提供に努めています。



24時間365日稼働している救急センターです。昼夜問わず様々な状態の患者様を救うためにチーム医療を展開するスタッフです。

■ 手術室

当手術室では消化器外科、整形外科、心臓外科、脳神経外科、泌尿器科、呼吸器外科、血管外科、乳腺外科、脊椎外科、耳鼻科、眼科、形成外科、小児科の手術を年間約8800件行っています。高度急性期医療を担う当院では24時間体制で緊急手術に対応しています。手術室看護師は30名在籍しており、経験年数は新人の1年目から20年以上の幅広いキャリアのスタッフが勤務しています。手術室看護は実践を通し人の命を救うスキルを身につけることができます。忙しい部署ではありますがやりがいも多く、患者様が期待する結果を提供できるようにスタッフ一丸となり努力しています。



手術のクオリティを保つため、チームでここの一番の共同作業に従事します。

■ 2A病棟（救急病棟）

救急病棟は、2019年の新興感染症の発生で新たに新設された病棟で、感染症スクリーニングをしながら緊急入院の患者様を受け入れる病棟です。内科、外科、整形外科、循環器科、小児科など全診療科の患者様が入院してきます。緊急の検査・処置や手術も多い中、若手看護師とママさん看護師で助け合いながら業務に取り組んでいます。新人も各種検査・処置などに接する機会が多く、先輩と一緒にさまざまな経験をしています。大変なこともありますが、その分学ぶことも多くやりがいを感じられます。



毎日運ばれてくる急患に迅速に対応する救急の後方支援病棟です。

■ 内視鏡センター

外来内視鏡センター看護師の業務は、検査・治療の介助と施行前・中・後の観察です。主に消化管では、胃・大腸検査、ポリープや早期癌の切除、異物の除去、出血に対する緊急止血処置、食道静脈瘤の治療、胃瘻造設、消化管ステントの留置、逆行性胆管膵管造影などを行っています。また、気管支内視鏡の検査・治療も行っています。内視鏡は消化器がんの早期発見・早期治療に役立つことからその需要は高まっています。患者様の苦痛・不安、不快感を最大限軽減し、安心・安全・安楽に受けただけよう配慮して医師・看護師と業務に取り組んでいます。



健診での予防医療から、早期がん治療、緊急の消化管出血や胆管閉塞にも対応する高度な治療室です。

■ ICU

高度治療室「ICU」は2:1看護で5床あります。救急搬送された患者様のうち、心筋梗塞、大動脈解離、重度外傷、敗血症など、生命に危険が及ぶ可能性の高い重篤な患者様や心臓、脳、肝臓疾患などの大手術後の患者様が入室しています。ICUで働く看護師は緊急入院の初期治療、生命維持装置使用患者の管理、術後早期リハビリの介入、心身共に回復するためのケア、重症者の日常生活の援助が求められます。安心、安全で良質な看護が提供できるよう、スタッフ一同精進しています。



手厚い看護配置で重症者の看護を行います。他職種との協働で一人の患者様にチームで関わり、最善を尽くしています。

病棟・設備紹介



4A病棟

整形外科を主とした47床の活気あふれる病棟です。



4B病棟

周術期を安心して過ごせるよう日々頑張っています！



5A病棟

内科、消化器内科、内視鏡内科、呼吸器内科、脳神経内科、小児科の混合病棟です。検査や緊急内視鏡など学べる病棟です。



5B病棟

循環器科、心臓外科、血管外科、泌尿器科、血液内科の混合病棟です。毎日検査や手術で忙しいですが、声をかけあいながら成長できる病棟です。



6A病棟

脳神経外科と形成外科の混合病棟。周術期の看護、脳神経外科の超急性期患者様の看護も提供。



6B病棟

心身の回復と在宅・社会復帰を目指し、多職種で集中的なリハビリテーション医療を実施しています。



外来

毎日平均870人の患者様が来院されています。専門性に特化した外来も多く、地域の皆様の健康を支えています。



透析室

入院外来問わず、導入から維持透析まで継続した看護を提供しています。



訪問看護ステーション

病院に隣接し、住み慣れた地域での暮らしを元気な訪問スタッフで見守っています。夜間の緊急訪問もあり、患者様の安心に繋がっています。

スペシャリストの活躍

看護部には、認定看護師、特定看護師、感染制御実践看護師、糖尿病療養指導士、呼吸療法認定士、NST専門療法士など、さまざまなスペシャリスト達が活躍しています。専門医療チームへの参加や院内研修の講師、学会発表など、それぞれが自分の専門性を活かし、院内外問わず幅広く活動しています。

認定看護管理者 2名

緩和ケア認定看護師 2名

皮膚排泄ケア認定看護師 1名

がん化学療法看護認定看護師 1名

感染制御実践看護師 2名

特定行為研修修了者 13名

特定行為研修指導者 4名

日本糖尿病療養指導士 3名

※2023年3月現在

学びを活かした専門活動

緩和ケア認定看護師(2016年取得) 乳井 直子

がん専門病院での勤務を機に「緩和ケア」に興味を抱き、当院に転職してスペシャリストの道を選びました。現在は配属病棟での業務に加えて、専門外来や緩和ケアラウンドチームの活動にも従事し、各病棟の終末期患者様を支えています。また、「最期は

自宅で迎えたい」という希望に寄り添っていくため、訪問看護師と協働で退院支援にも力を注いでいます。近年では、がん以外の病気でも緩和ケアニーズが高まっているので、活動の輪を広げながら一人でも多くの患者様の苦痛を和らげていきたいです。



看護師の新しい働き方に挑む

特定看護師(2019年取得)・
感染制御実践看護師(2015年取得) 跡治 江理奈

特定看護師の育成に積極的な当院では、2023年度末に20名体制となる予定です。私の研修先は県外の大学病院でしたが、大半の講義をeラーニングで受講し、実習は当院にて行ったため、30日程の通学で特定行為6区分を修了しました。依頼が多い特定

行為はPICC(中心静脈カテーテル)の挿入で、2年間で約300件実施しています。今まで医師にしかできなかった診療行為を担えるようになったことで、医師の負担軽減はもちろん、タイムリーな患者様対応や看護師の安心にもつながっていると感じます。



資格取得サポートについて

AMGには特定看護師や認定看護師などを目指す際の「資格取得支援制度」が整っています。研修期間は勤務扱いで基本給が全額支給されます。